

小集団で取り組む実践的安全 先取りトレーニング

[評者] 花井恵子 北里大学病院医療安全管理室医療安全管理者

医療の危険予知トレーニングシリーズ クリニカル KYT

芳賀 繁 監修

時間各 24 分

DVD/ビデオ全 2 巻(資料 CD-ROM 付)

定価各巻 39900 円(本体 38000 円+税 5%)

安井電子出版 TEL. 03-3553-6021



■あらゆる場面に危険が潜む

医療の現場を見渡せば、“薬剤の名称”が似ているために発生する調剤間違い、薬剤の“ラベルのデザイン”が似ていることによる薬剤準備間違い、患者の“同姓同名”による薬剤投与間違い……と、薬剤に関することだけでもあらゆる場面に危険が潜んでいる。そのような危険を事前に予測し、対策を立て、それを実践できるとしたら、医療者はもちろん、それを受ける患者たちはどんなに安心できることだろう。安全な医療は、その環境にいるすべての人々が今最も念願しているところである。

そのような医療界で、中央労働災害防止協会が以前から推進してきたKYT(危険予知トレーニング)が注目され始めている。KYTは産業界で誕生し、徐々に変化しながら、現在の形となった。JRで行なわれている指差し呼称(いわゆる「○○ヨシ!」という行動と声出し)に代表される安全確認の方法である。

このKYTを医療界で使用できる内容に編集し、“クリニカルKYT”としてDVD/ビデオにしたものが発売された。医療現場にKYTを取り入れるためのトレーニング用として製作されたもので、第1部「クリニカルKYTのすすめ方・いかし方」と第2部「実践!! 病棟レベルの短時間KY」の2巻で構成されている。

「第1部 クリニカルKYTのすすめ方・いかし方」では、KYTの最も基本的な考え方である基礎4ラウンド法についてその進め方を丁寧に解説している。事例として“医師の口頭指示の場面”を取り上げ、その場面にどのような危険が潜んでいるか、小グループのメンバーが危険予知を

展開する。

(第1ラウンド:現状把握)最も重要であると思われる危険のポイントを絞る。(第2ラウンド:本質追求)それらの危険に対して、「あなたならどうする?」「私ならこうする」と対策を挙げていく。(第3ラウンド:対策樹立)グループメンバー全員で「私たちはこうする」と、必ず実行する対策を決定する。(第4ラウンド:目標設定)チーム目標と指差し呼称項目を決定する。

この基礎4ラウンド法をマスターして、第2部の現場でのミーティングにKYTを活かす構成になっている。

■ポイントは短時間に、確実に

「第2部 実践!! 病棟レベルの短時間KY」は、短時間KY、指示者レベルのKY、ワンポイントKY、個人レベルのKY(1人KY)、患者・家族参加によるKYという構成で、第1部の応用編として位置づけられている。

なかでも指示者レベルのKYは、多くの重要事項を含み、ぜひとも医療現場で活用したい手法が展開される。具体的には日常の病棟で展開される朝のミーティングの場面である。指示内容に必ず予測される危険のポイントをに入れて伝え、担当看護師はその内容を忠実に復命し、不正確でないか、不十分でないか、をみていくのである。

このDVD/ビデオ製作に携わった細川加代子氏は「KYはチーム力、連帯感を高め会話を促進し、現場が明るくなり、職員を活性化させてくれることを改めて知ることができた」と結んでいる。この手法を医療現場に取り入れることで、1人ひとりの危険感受性、集中力、問題解決能力、実践への意欲を高め、ヒューマンエラー対策としたい。